



リチウムイオン電池内蔵使用済み製品の店舗回収に関する実証事業への参画について

松田産業株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松田芳明、以下「当社」）は、埼玉県およびモバイルバッテリーにて国内トップシェアのアンカー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：猿渡 歩）と連携し、リチウムイオン電池を内蔵した使用済み製品の店舗回収ならびにレア金属の再資源化に関する実証事業へ参画することになりましたのでお知らせ致します。

<実証に取り組む経緯>

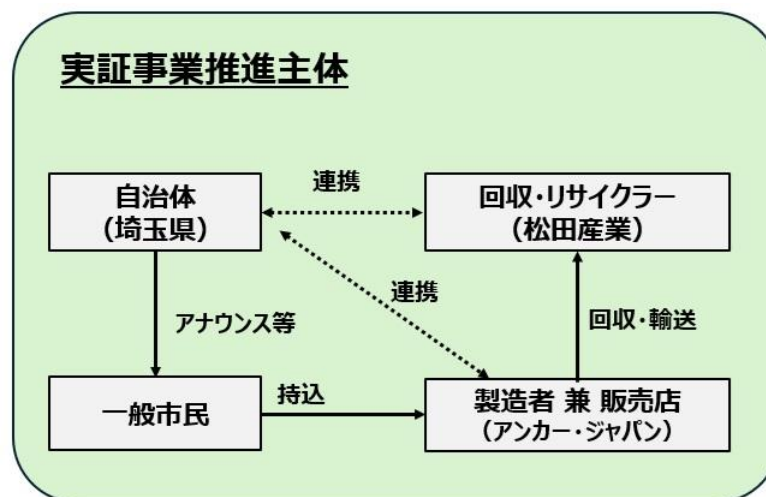
スマートフォンやモバイルバッテリー、電子たばこといった身近な充電式電化製品の多くに、リチウムイオン電池が内蔵されています。リチウムイオン電池に含まれるニッケル、コバルトなどのレア金属は、メーカー等が自主回収している製品を除き、その多くが有効に再資源化されていないのが実情です。

また、リチウムイオン電池が適切に分別されず家庭ごみに混入されてしまうことにより、ごみの収集運搬時や処理施設等における火災事故発生の原因となっており、このような社会課題の解決方策の 1 つが店舗による回収だと考えられます。

本実証では、当社がこれまで培ってきたリチウムイオン電池のリサイクル技術を活かし、店舗回収されたリチウムイオン電池内蔵製品の安全な収集運搬および再資源化の役割を担います。

本取り組みを通じて、企業理念である「限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会へ貢献」を 続けて参ります。

<実証体制図>



<実証概要>

内容	店頭回収の継続的な実施に向けた検証（回収量、安全な保管方法等の検証） ・メーカーによる自主回収の実効性検証 ・アンカー・ジャパン社製品以外の他社製品を含むメーカー横断回収の有効性検証 ・埼玉県、メーカーによる分別回収の広報／啓発活動の実施
実証期間	令和 8 年 10 月 1 日（木）～ 令和 8 年 12 月 23 日（水）
回収場所	（1）Anker Store 越谷レイクタウン（埼玉県越谷市レイクタウン 4-2-2）※ （2）Anker Store Outlet 入間（埼玉県入間市宮寺 3169-1） （3）Anker Store Outlet ふかや花園（埼玉県深谷市花園 1 番地） （4）Anker Store ららぽーと富士見（埼玉県富士見市山室 1 丁目 1313） ※Anker Store 越谷レイクタウンでは別途環境省事業を実施しています
回収対象	リチウムイオン電池内蔵製品の内、下記 3 品目 ・モバイルバッテリー ・ワイヤレスイヤフォン ・加熱式・電子タバコ ※ 3 品目ともアンカー・ジャパン(株)の製品に限りません（他社製品も回収対象）
参画企業の 主な役割	（1）埼玉県 ・協力自治体との連携窓口 ・実証の取りまとめ、市民への周知を実施 （2）アンカー・ジャパン株式会社 ・4 店舗における回収ボックスの設置 ・回収店舗における各種製品の回収／管理 ・広報／啓発活動 （3）当社 ・店舗にて収集されたリチウムイオン電池内蔵製品の回収～輸送～再資源化

<本件に関する問合せ先>

松田産業株式会社 環境ソリューション事業部 ソリューション営業部

TEL : 03-5909-5106